

栃木市監査委員告示第17号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

平成30年12月4日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 茂 呂 健 市

1. 監査の実施日 平成30年11月12日
平成30年11月13日
2. 監査の対象 部屋小学校 藤岡第二中学校 大平西小学校
大平中学校
大平東小学校 南小学校 国府南小学校
国府北小学校

3. 監査の方法

平成30年9月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

◎部屋小学校

部屋小学校は、学校教育目標を

「知（確かな学力）・徳（豊かな人間性）・体（健康・体力）のバランスのとれた生きる力をもつ児童を育成する。」

としている。

目指す児童像として、

「考える子…主体的に学び、様々な課題の解決に努力する子」

「心豊かな子…思いやりの心を持ち、友達と協力し合える子」

「健康な子…粘り強くやりぬく、心身ともにたくましい子」

として、書く力と表現する力の育成と指導方法の工夫・改善、基本的生活習慣の定着と児童指導の充実、健康で安全な基本的生活習慣の育成を本年度の主な努力点として取り組んでいる。

主な活動としては、とちぎ未来アシストネットを活用した部屋地区ならではの「よしず作り体験」や「ミニ提灯作り」など、様々な授業や、小中一貫交流活動として小中合同ボランティアクリーン作戦など、保護者や地域と一体となった学校行事を実施している。

また9月9日を部屋小学校防災の日として、3年前の豪雨災害の教訓を踏まえ、自分の命は自分で守ることを子どもたちに指導している。

学校管理費については、予算現額 2,338,000 円に対し、支出負担行為額 1,109,689 円で 47.5%の執行率である。

その主なものは、事務用品、授業用品等の消耗品、燃料費、コピー機使用料、教科備品等の備品購入費である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎藤岡第二中学校

藤岡第二中学校は、学校教育目標を

「自ら学び、自ら問う生徒 人を思いやり、協調し合う生徒 健康で、きびきび活動する生徒」

としている。

学校経営については、小規模校の特性を生かし、生徒一人一人に対して個に応じたきめ細やかな指導を行い、学力の向上を図り、さらに生徒一人一人が学校生活全般にわたって認められ、心豊かで健康・安全に毎日が送れるように取り組んでいる。

また、平成29年度より2年間県の「学力向上応援団」派遣指定校となり、確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成

を学校経営の努力点とし、とちぎ未来アシストネットを活用した家庭科の授業、公民館との共同事業として総合学習の中で「カヌー教室」を実施するなど、地域社会と連携した教育を行っている。

学校管理費については、予算現額 2,340,000 円に対し、支出負担行為額 941,827 円で 40.2%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、児童用図書や草刈機等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は、概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎大平西小学校

大平西小学校は、学校教育目標を、

「心豊かに さとく たくましい 西小の子どもの育成
ーやさしい子・考える子・つよい子ー」

としている。

目指す子ども像として

「やさしい子（共に生きる）・考える子（自ら生きる）・つよい子
（豊かに生きる）」

としており、「確かな学力の定着を図る」「豊かな心と健やかな体をはぐくむ」「教育環境の整備を推進する」「地域とともにある学校づくりを推進する」「高め合う教職員組織を構築する」の5つの方針のもと学校経営に努めている。

平成30年度は、「一人でも・いっしょに・さらにチャレンジ」を学校づくりのテーマとして取り組んでいる。

また、とちぎ未来アシストネット事業では、ぶどうの皮を使用したぶどう染め、生き物調査、米づくり体験を継続的に実施し、地域や保護者との連携を図っている。

学校管理費については、予算現額 3,548,000 円に対し、支出負担行為額 1,843,502 円で 52.0%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、児童用図書購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎大平中学校

大平中学校は、学校教育目標を

「知性をみがき創造力に富む生徒の育成〔さとく〕」
「互いに人格を尊重し協調し合う生徒の育成〔やさしく〕」
「心身ともに健康で持久力のある生徒の育成〔たくましく〕」
としている。

目指す生徒像として、

「自ら学ぶ生徒」「自他を思いやる生徒」「心身ともに健康な生徒」
としている。

本年度の努力目標は、確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、家庭や地域社会との連携・小学校との連携や交流の4つについて取り組んでいる。

今年度より2年間市の指定を受け、人権教育研究校として、大平中学校区の大平西小学校、大平東小学校とともに研究授業や小中合同研修会など小中一貫の人権教育に取り組んでいる。

学校管理費については、予算現額4,438,000円に対し、支出負担行為額2,370,613円で53.4%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、生徒用机椅子、職員室電話機等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎大平東小学校

大平東小学校は、学校教育目標を

「やさしい子 考える子 たくましい子」

としている。

目指す学校像は、「信頼される学校」とし、「やる気いっぱい 感動いっぱい 笑顔あふれる東小」のスローガンのもと、一人一人が夢に向かって、生き生きと活動し、自信と笑顔のあふれる学校づくりに取り組んでいる。

今年度の重点目標を「地域とともにある学校づくり」としており、隣接の特別養護老人ホーム幸寿苑への全学年訪問や、アルミ缶を回収して車椅子を寄附する活動など積極的に取り組んでいる。

また、地域との関わりも強く、とちぎ未来アシストネットや登下校見守り隊など、地域や保護者との良好な連携が図られている。

学校管理費については、予算現額2,929,000円に対し、支出負担行為額1,491,732円で50.9%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、机椅子、児童用図書等備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎南小学校

南小学校は、学校教育目標を

「進んで学ぶ子 仲良くする子 たくましい子」

としている。

学校経営の基軸を「健やかな心身の育成」としており、全児童・全教職員の「絆」と「和」を大切にしたチーム学校づくりに取り組んでいる。

また、栃木翔南高校の高校生ボランティアには、放課後学習会の時に算数の学習の手伝いや、教員を目指している大学生ボランティアには授業の中に入れてもらうなど、とちぎ未来アシストネットを活用した様々な活動を行っており、学校と地域の連携を実践している。

学校管理費については、予算現額 2,711,000 円に対し、支出負担行為額 1,353,438 円で 49.9%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、図書室用閲覧用書棚、児童用図書等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていたが、給食費において入出金の内容を明確にするために出納簿を作成するよう指導した。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎国府南小学校

国府南小学校は、学校教育目標を

「進んで勉強する子（やる気）」

「心の豊かな子（思いやり）」

「元気でたくまし子（根気）」

としている。

学校経営においては、通常の通学区域にかかわらず栃木市全域どこからでも通うことができる小規模特認校としての特性を生かし、児童一人一人が尊重され、互いを認めあい、励まし合いながら、それぞれの個性や能力が発揮できる居がいのある学校づくりに努めている。

毎年継続的に「開校記念音楽鑑賞会」を地域の方や保護者も交えて開催するなど、子どもたちのよりよい成長のため、家庭・地域と

ともにある学校づくりに取り組んでいる。

学校管理費については、予算現額 1,759,000 円に対し、支出負担行為額 891,613 円で 50.7%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品費、燃料費、コピー機使用料、児童用机・椅子等の備品購入費である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

学校施設の管理及び備品の保管状況は概ね良好であった。

◎国府北小学校

国府北小学校は、学校教育目標を

「よく考える子ども」

「思いやりのある子ども」

「がんばる子ども」

としている。

学校経営方針として「まごころいっぱい 花いっぱい 夢いっぱい」をスローガンとした「まごころ運動」に取り組み、思いやりの心、何事も最後まであきらめず、がんばる心を目指したまごころ教育を行っている。

近年、活字離れと言われているが、年間 200 冊以上本を読んでいる児童もおり、積極的な読書活動に取り組んでいる。

また、小中一貫教育として、東陽中学校区の小中学校と共に、毎月 14 日をノーテレビ、ノーゲームデーとして、家族みんなで過ごす時間をつくる取り組みや研究授業を実施しており、地域との関わりも強く、アシストネットなど地域や保護者との連携を図っている。

学校管理費については、予算現額 4,771,000 円に対し、支出負担行為額 1,839,048 円で 38.5%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、テレビ台、書画カメラ等の備品購入費、学校行事消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

学校施設の管理及び備品の保管状況は概ね良好であった。